

松戸七福神めぐり

お問い合わせ先

●松戸市役所商工観光課 047-366-7327(直通)
URL <http://www.intership.ne.jp/~mcity/matsudo/>

●松戸市観光協会事務局 047-366-7327(直通)
URL <http://www.intership.ne.jp/~m.kankou>

歩く門にも福来たる! 松戸七福神めぐり

めでたい年の始まりに、今年一年の幸福を願って「松戸七福神めぐり」に出掛けてみませんか。ドライブまたはハイキング気分て気楽に回れるこのコース。車なら約3時間、電車、バスを使っても約5~6時間あればOK! 地元近郊を散策しながら、お正月の雰囲気を感じてみるのは、

福を呼ぶ神様七福神とは…

寿老人、福祿寿尊、大黒天、布袋尊、恵比須神、弁財天、毘沙門天…ご存じ“七福神”。夢まくらに宝船に乗ってあらわると福が授かる”と、初夢の枕の下に入れて吉夢を見ることを願うとされています。

七福神信仰は室町時代末ころに生じ、そのころ中国から輸入された思想と古来から日本で信じられてきた欲信と仏教思想とが入り混じって生まれた信仰として、当時、庶民の間ではやっとなか、また“七福”の語源は「仁王経」の中にある“七難七福”からきたと伝えられています。

松戸七福神は、決して派手ではないけれど、山寺の趣を残したお寺など、静けさの中に賑やかな雰囲気が漂う寺院ばかり。1月31日までお正月拝観期間中には、事前に電話すれば接待をうけられる寺院もあります。

寿老人

“寿老人(じゅろうじん)”は、その名のとうり長寿の神様で老子の化身の神という説も。安心して長生きできるようお願いします。
■徳蔵院 ☎047(387)2989

福祿寿

長い顔がトレードマークの“福祿寿(ふくろくじゅ)”は、福は幸福、禄は富、寿は長寿を表しているという、この上ないメタタイ神さま。
■円能寺 ☎047(341)6679

大黒天

右手に袋、左手に打ち出の小づちを持った“大黒(だいこく)さま”はあまりにも有名。“高亮繁盛”の神さまとして、特に商売人のファンが多いとか。
■宝蔵院 ☎047(362)4917

布袋尊

大きなおなかとふくよかな顔が印象的な“布袋(ぼてい)さま”は、堪忍と和合を授けてくれる常に平和を願う神さま。唯一実存した人物であるという説も。
■善照寺 ☎047(362)4823

恵比須神

いつもニコニコ、まさにエビス顔の“恵比須(えびす)さま”は、大黒さまと並んで“高亮繁盛”の神さま。お願いすれば景気回復も夢じゃないかも。
■金蔵院 ☎047(341)9761

弁財天

七福神の中の紅一点“弁天(べんてん)さま”は本来、水の神ですが、学問と芸能の神、さらには富財の神としても活躍。七人の中で最も多忙な神さま!?
■南蔵寺 ☎047(342)4028

毘沙門天

よろいかぶとを身にまとった“毘沙門天(びしゃもんてん)”。こわ面の顔とは裏腹に心の迷いや悪行を赦免させ、財宝を授けてくれるヒーロー的存在です。
■風王寺 ☎047(341)0728



松戸七福神

七福神の信仰は室町時代の末期のころより生じ、当時の庶民性に合致して民間信仰の最も完全な形となって育てられてきました。特に農民、漁民の信仰として成長し、現代に生き続けてきたのであります。

七福神のうち、大黒天、毘沙門天、弁財天及び布袋和尚は仏教出身、寿老人、福祿寿尊は中国の道教、神仙観より、恵比須神は日本神道の出身とされています。

仏教を中心として中国宗教と混合して出現したのが七福神と称されています。七福神の信仰七種の徳を支配する神として盛んになり、中国より伝来した思想と古来より日本にて信じられていた俗信が仏教思想を基に人り混じって生じた信仰であると伝えられています。七福の語源は「仁王経」の中にある七難即滅七福即生に発して称されたものと云われています。

往時、七福神は夢枕に宝船に乗ってあらわれると福が授かるといわれ、初夢の枕下に入れて、吉夢をみるのが流行りました。

松戸七福神めぐり



惠比須神
金蔵院



布袋尊
善照寺



大黒天
宝蔵院



毘沙門天
医王寺



弁財天
華蔵寺



福祿寿尊
円能寺



寿老人
徳蔵院

